

# 【香取地域】平成 30 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	東庄町	品種	アキヒカリ
土性	砂壤土	播種日	5月5日
播種量	5kg/10a(湛水直播)	移植日	—
幼穂形成期	7月3日	出穂期	7月26日
成熟期	8月27日	収穫日	8月30日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	86.6cm	穂長	17.9cm
穂数	434本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	1.4
粗玄米重	700kg/10a	標準単収値	565kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：鶏糞
- ・施用量：150kg/10a
- ・施用時期：平成29年11月

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：11.7kg/10a ※肥料銘柄：飼料用米専用一発
  - ・(追肥) N量：2.1kg/10a ※肥料銘柄：硫安
- 追肥実施日：7月15日

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：—

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：59株/坪
- ・植付本数(4~6本/株を推奨)：9.8粒/株

## 4 考察等

幼穂形成期の追肥など、栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、鉄コーティング湛水直播によっても、高い収量を得ることができた。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥 N 量	9 kg/10a (砂質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1~2mmの時期)に施用します